

江差町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

江差町では、準基幹的広域バス路線を中心とした減便や廃止が続いており、町の一部地域で交通空白地域が発生するなど、町民の生活移動において、多大な影響を及ぼしている。

このような状況を改善するため、町内全域を事前予約に応じたデマンド方式で運行し、町民における生活移動を支える役割を担う「江差マース」を運行することで、生活交通ネットワークの構築を進めている。

生活交通確保維持改善計画の目標

- ・江差マースの利用者数を1日あたり10人とする
- ・江差マースの収支率を5.4%とする

令和6年度事業概要

運行系統名：江差マース
運行区間：江差町内全域(利用者の自宅及び町内90箇所の乗降地点間)
運行回数：212回
運賃：200円～500円

地域公共交通の現況

- ・バス（4路線、1社）
- ・タクシー（1社）
- ・フェリー（1路線、1社）

協議会開催状況

5月28日(火) 第1回協議会を開催

主な協議事項

- ・江差マース運行方針について
- ・江差町地域公共交通計画の変更について

6月14日(金) 第2回協議会を開催

主な協議事項

- ・地域公共交通計画認定申請について

12月4日(水) 第3回協議会を開催

主な協議事項

- ・江差マース運行実績について
- ・事業評価について

令和6年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

【プロセス】

令和3年～令和5年にかけて、計4度の実証実験を実施。令和6年8月から、終了期間を設けない本格運行を開始。

【創意工夫】

利便性向上のため、4度の実証実験で得られた乗降データや、住民を対象にしたアンケート調査の結果を踏まえ、乗降地点の追加、運行エリアの拡大、予約方法の多様化などを実施。

2) 運行系統

【江差マース】

買い物・飲食・宿泊

1. サツドラ江差柳崎店(★)
 2. サツドラ江差店(★)
 3. 太陽クリーニングふわっと柳崎店(★)
 4. イエローグローブ江差店(★)
 5. 愛宕町商店街 わかさ商店前(★)
 6. 太陽クリーニングドライセンター工場(★)
 7. 伊勢谷時計店(★)
 8. 万年屋書店(★)
 9. ウロコイ辻薬店・山田屋菓子舗前(★)
 10. レディスショップたじま(★)
 11. 法華寺通り商店街 お休み処寄来所前(★)
 12. フラワーショップうすき(★)
 13. あすなる新地センター(★)
 14. 太陽クリーニングドライセンター(★)
 15. レストラン津花館(★)
 16. 室谷塗料店(★)
 17. チャイニーズレストラン美華(★)
 18. ホテルニューえさし(★)
 19. フードセンターブテン江差店
 20. DCM江差柳崎店
 21. ラルスマート江差店
 22. ダイソー江差店
 23. ローソン江差柳崎店
 24. ローソン江差姥神店
 25. セイコーマート江差尾山店
 26. セイコーマート江差新地店
 27. セブンイレブン江差愛宕町店
 28. セブンイレブン江差茂尻町店
- ※(★)はEZOCA提携店

通院

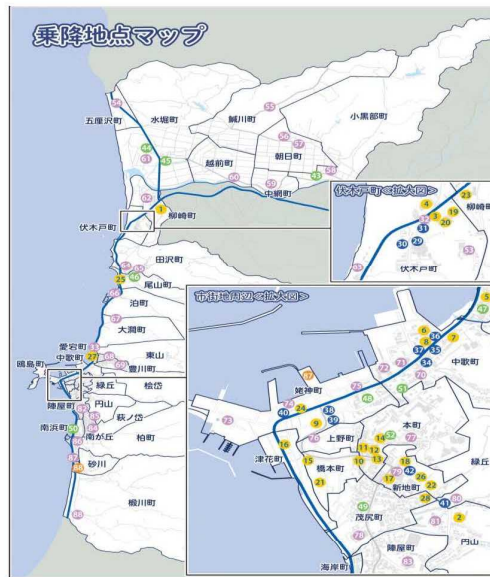
29. 北海道立江差病院
30. サンセイつじ薬局・アイン薬局江差店前
31. 江差脳神経外科クリニック
32. 江差調剤薬局
33. えさし鍼灸
34. 和み歯科
35. 岩坂歯科医院
36. 道南勤労者医療協会江差診療所
37. あさひ薬局江差店
38. 佐々木病院
39. いにしえ調剤薬局
40. 渡辺鍼灸整骨院
41. 江差整骨院
42. 増永歯科医院

金融

43. 小黒部簡易郵便局
44. 農協江差支店
45. 江差水堀郵便局
46. 江差尾山郵便局
47. 江差愛宕郵便局
48. 江差郵便局
49. 江差茂尻郵便局
50. 江差南浜簡易郵便局
51. 北洋銀行江差支店
52. 道南うみ街信用金庫本店

公共施設

65. めくもり温泉保養センター
66. 泊生活館
67. 大瀧寿の家
68. 老人福祉センター
69. あすなる学園
70. 江差町会会館
71. 江差町役場
72. 江差追分会館
73. 開陽丸青少年センター

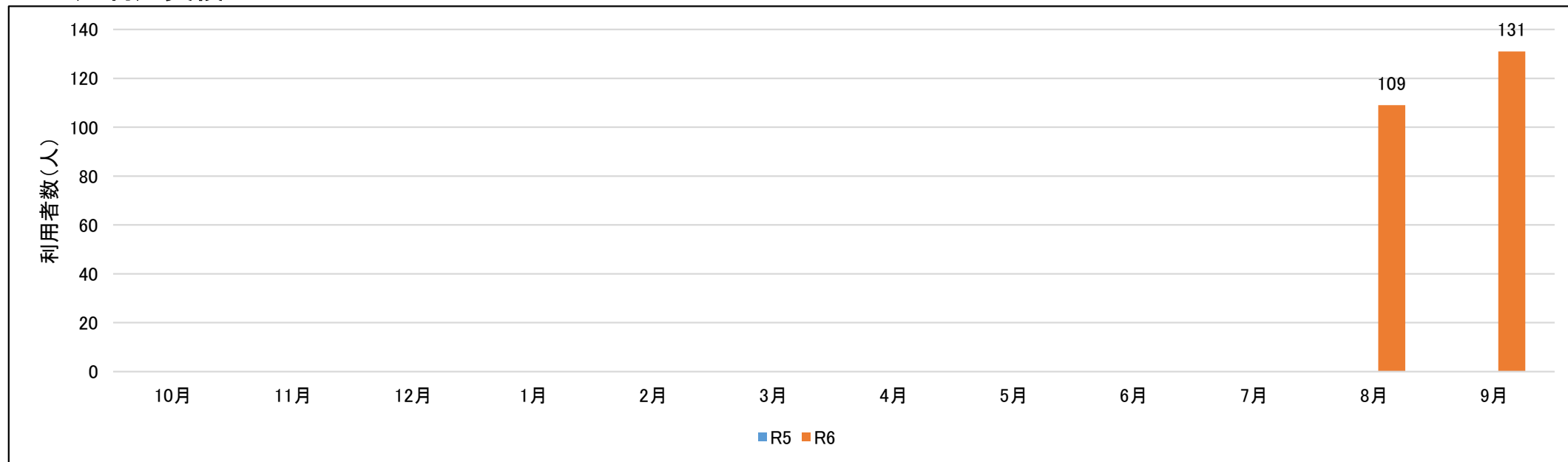


74. ひやま漁業協同組合江差支所
75. 江差地方合同庁舎
76. 江差警察署前(対隣館)
77. 家庭・簡易裁判所
78. 江差町文化会館
79. コミュニティプラザえさし・エコ
80. 緑丘福祉の家
81. 在宅型総合福祉施設まるやま
82. 陣屋ふれあいセンター
83. 檜山振興局
84. まなびつく
85. 南が丘ふれあいセンター
86. 五勝手生活館
87. 柏町母と子の家
88. 檜川担い手センター

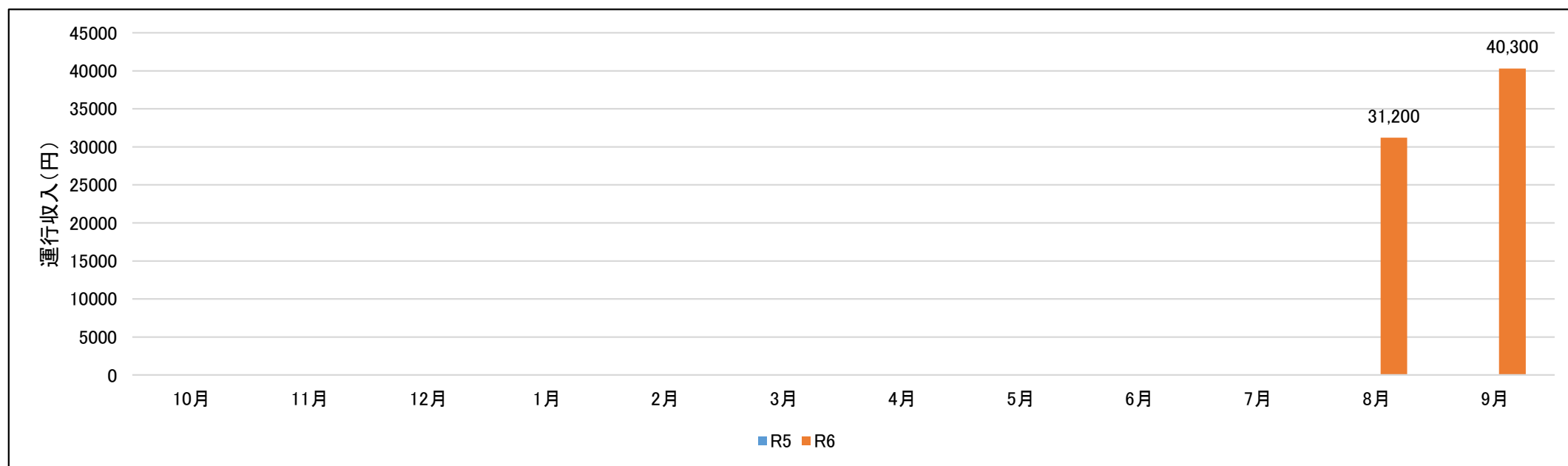
交通拠点

89. フェリー乗り場
90. 江差ターミナル

3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

江差マースについては、令和6年5月28日改正の江差町地域公共交通計画に記載のあるとおり、令和6年8月から本格運行を開始した。

人口減や自家用車の普及による、バス路線を中心とした減便や廃止が続き、町の一部地域において交通空白地域が発生している状況のなか、高齢者や学生といった交通弱者を中心に、主に通院や買い物時の移動手段として、生活移動を支える役割を担っている。

また、近隣市町との広域交通路線と結ぶ区域型の交通路線として、生活交通ネットワークの構築に寄与している。

このことから、江差マースは適切に実施されている。

6) 目標・効果達成状況

1日あたりの延べ利用者数については、令和6年度事業分にあたる8～9月の実績が10.4人/日と、目標値である10.0人/日を達成した。

収支率については、令和6年度事業分にあたる8～9月の実績が7.51%と、目標値である5.4%を達成した。

7) 事業の今後の改善点

江差マースは、過去3か年における4度の実証実験の結果から、より利便性の高く、かつ持続可能性の高い運行体制の構築を目指してきたところ。

これまでの実証実験や、本格運行開始前の周知活動の成果もあり、住民に対する江差マースの認知度は、徐々に向上してきているが、本格運行を開始したことや、そもそも江差マースのことを知らないという住民も一定数いることから、継続的な周知活動の実施や手法の見直しが求められる。

また、令和6年度事業分の運行結果や、住民に対するアンケート調査の結果を踏まえ、より多くの人に利用してもらうことができるよう、利便性向上にむけた運行方針等の見直しが必要になる。

8) 地方運輸局等における二次評価結果

- ・ 自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・ いずれも目標値を上回っており、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・ 持続可能な公共交通を維持する観点から、公的負担額といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。